

## 令和元年度議会による行政評価結果について

令和元年度泉佐野市議会行財政委員会では、当委員会において選定した施策について、議会による議員全員の評価と意見を取りまとめ、調査と議論の結果、下記のとおり評価を決定し、令和2年度以降の事業と予算についての対応を期待する。

### 記

施策名 「コミュニティ活動の支援」

施策の方向性 「現状維持」

1. 昨今の町会加入率低下の大きな要因として考えられるのは、複雑多岐にわたる役の業務を重荷と感じているからである（ゴミ袋の配分など）。このため、町会役員を有償ボランティアと位置づけ、町会振興事業の予算を見直すことで、少額の報酬制の導入を検討されたい。
2. 災害発生時での「共助」の観点から、日頃からのコミュニティづくりの必要性のさらなる周知に努めること。
3. マンションなどは個々に理事会があるため、町会への関心が薄い。マンションなど、集合住宅を建設する際には各業者から新規入居者へ町会加入に向けた説明及び、促進の強化を図ること。
4. 各町会単位で幅広いリーダーが将来のコミュニティ活動のためには必要と感じており、その育成、支援策を検討いただきたい。

施策名 「市民参加・参画の推進」

施策の方向性 「現状維持」

1. タウンミーティングの幅広い年齢層へのさらなる参加を促進すること。
2. スマートフォンの普及により、SNS 等を今まで以上に活用し、市民の皆様への情報発信を強化すること。
3. 市民の皆様には各種ボランティア活動や NPO 活動へのさらなる参加を促すことで、行政との連携の強化を図ること。

施策名 「文化財の保存と活用」及び「文化的景観の保護推進」

施策の方向性 「拡充」

1. 泉佐野市には日本遺産に指定された、「旅引付と二枚の絵図が伝えるまち—中世日根荘の風景—」をはじめとした、多くの歴史・文化遺産が点在している。このため、インバウンド客を含む、滞在者や来訪者の受入体制強化を図ること。
2. 1. を実現するために、駐車場や公衆トイレなどの公共施設の整備に加え、飲食店や土産物販売店が出店できるように周辺の環境整備をすること。

施策名 「歴史・文化の保存継承と情報発信」

施策の方向性 「現状維持」

1. SNS の活用による幅広い世代に向けた広報の強化を図ること。
2. 各歴史・文化遺産などの施設に多言語標記の案内を設置すること。
3. 多言語による分かりやすい案内パンフレットのさらなる充実を図ること。
4. 教育委員会と連携して、子どもたちに泉佐野市の歴史・文化遺産の魅力を継承できるようにすること。